

# 「ひがだね」が見た風景

第27号

(東灘高校マスコットキャラクター)



8月19日(月) 2011年の東日本大震災の翌年から始まった東灘高校、神戸高校、御影高校による、「神戸市三校研修会」が今年も、御影公会堂にて開催されました。今年度(令和7年1月)に阪神淡路大震災から30年の節目を迎えることから、今回より東日本大震災被災地支援・交流を防災研修に変えました。講師の自衛隊兵庫地方協力本部神戸出張所所長の原田修明様から、講話と「能登半島地震の対処における問題点」、「被災したとき自分や周囲から思いやりが失われたとき、強く生きていくための心構え」等について、3校の生徒とPTA、教員が意見を出し合い、グループワークを行いました。生徒たちから、自主的な発表や活発な質問があり、良い研修会となりました。

兵庫県は今年から、「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」に「繋ぐ」を加えた基本コンセプトを設定し新たなステージに入ろうとしています。阪神淡路大震災を知らない(生まれていない、覚えていない)方も増えてきていますが、経験と教訓を世代・地域を越えて繋いでいってほしいと思います。

